

# 高時川の「瀬切れ」の判定方法について

丹生ダム建設所では、次の3つの方法により瀬切れの判定を行っています。

## (1) 目視による判定

河川巡視、通勤時、その他調査等、実際に高時川を目視により確認した際、①水面がない、或いは、②水面はあるが連続していない、という2通りの状況となっている場合に『瀬切れ』と判定しています。

なお、目視による瀬切れを確認したのち、降雨により流れが回復しても、その日は『瀬切れ』としています。



①水面がない状態

②水面はあるが連続していない状態

## (2) 河川水位データからの判定

土曜日、日曜日、祝日、その他目視による確認ができなかった場合、丹生ダム建設所で観測している1時間毎の河川水位のデータにより判定をしています。

なお、観測データのうち、1時間でも瀬切れと判定される水位となっていた場合、その日は『瀬切れ』としています。

## (3) 瀬切れ発生状況、降雨状況からの類推による判定

(2)において瀬切れと判定される水位よりも高い水位データを観測している場合においても、観測していない地点で瀬切れが発生している可能性があります。

この場合、瀬切れの判定をしたい日の前日及び翌日の瀬切れの状況、降雨の有無等を勘案し、判定することとしています。